

PRESS RELEASE

2015年12月1日
株式会社インターネットイニシアティブ

IIJ、「IIJマネージドファイアウォールサービス」のラインアップを拡充し、 標的型攻撃等のセキュリティ脅威の対策に有効な機能を提供

株式会社インターネットイニシアティブ(IIJ、本社:東京都千代田区、代表取締役社長:勝 栄二郎、コード番号:3774 東証第一部)は、「IIJ マネージドファイアウォールサービス」の新品目として、フォーティネット社の「FortiGate シリーズ」を本日より提供開始いたします。また、既存品目であるチェック・ポイント・ソフトウェア・テクノロジーズ社の「Check Point アプライアンスシリーズ」において、複数の新機能を追加し、2016年2月より提供開始いたします。

IIJ マネージドファイアウォールサービスは、お客様の社内に設置したファイアウォール機器を IIJ のセキュリティ専門エンジニアがリモートから運用管理するサービスです。機器のレンタルから初期設定、運用、監視、保守までを一貫して行うことにより、お客様の様々なネットワーク環境に対応する、きめ細やかなサービスを提供します。また、24 時間 365 日の運用監視に加え、IIJ が独自に開発した「アノマリ検知システム」※による異常検知や、障害通知の対応時間を保証する SLA(サービス品質保証制度)等を基本機能として提供しています。

これまで大手企業や中央省庁などをターゲットにしていたサイバー攻撃が、大手企業の関連会社や取引のある中小企業へと広がりを見せ、標的型攻撃を始めとするサイバー攻撃への対策を強化したいというニーズが高まっています。中でも利用できるリソースが限られる中堅・中小企業では、効率的なセキュリティ対策と TCO 削減が求められています。本サービスでは巧妙化するセキュリティ脅威への対策と TCO 削減を両立する「FortiGate シリーズ」をラインアップに追加することで、幅広いお客様のニーズに対応します。

更に、「Check Point アプライアンスシリーズ」において、未知の攻撃をリアルタイムに防御するクラウドベースのサンドボックス機能「Threat Emulation」や、世界中の脅威情報ベンダーと連携して脅威情報を提供する「ThreatCloud IntelliStore」等のオプション機能を提供します。

※アノマリ検知システム: ファイアウォールの通信ログを解析することで、お客様固有の通信傾向を学習し、変則的な通信が発生した場合に、異常を検知する IIJ の独自技術。

「FortiGate シリーズ」の主な特長

- 高度な防御を実現する次世代ファイアウォール
アンチウイルス、アンチスパム、IPS や Web フィルタリング等、複数のセキュリティ機能が 1 台の機器に統合されており、様々な脅威からネットワークを保護します。
- 専用プロセッサによる高い処理性能
独自開発の「FortiASIC」を搭載し、機能が集約された 1 台の機器でもネットワークのパフォーマンスを損なうことなく、高速処理を実現します。

「Check Point アプライアンスシリーズ」新機能の主な特長

- 未知の脅威を防御するサンドボックス機能(Threat Emulation)
クラウドベースのサンドボックス環境でファイルの検査を実行し、振舞いによる検査および高度な回避テクニックに対抗する最新のCPUレベルの検査から脅威の有無を確認することにより、未知の脆弱性を悪用するゼロデイ攻撃や標的型攻撃を検出し、リアルタイムに防御します。
- 脅威情報マーケットプレイス(ThreatCloud IntelliStore)
世界各国で提供されているセキュリティ企業や業種業界に特化し専業で脅威情報を収集しているセキュリティベンダーの脅威情報を提供するマーケットプレイスです。この中からお客様の保護対象にあわせて必要な脅威情報を選択することで、世界中で発生する最新の脅威を検出、防御します。

提供価格 個別見積

■サービスの詳細は、<http://www.ij.ad.jp/biz/mfw/>をご覧ください。

IIJ では今後とも、お客様に最適なセキュリティ対策を実現するサービスを拡充してまいります。

報道関係お問い合わせ先

株式会社インターネットイニシアティブ 広報部 荒井、増田

TEL: 03-5205-6310 FAX: 03-5205-6377

E-mail: press@ij.ad.jp URL: <http://www.ij.ad.jp/>

※本プレスリリースに記載されている社名、サービス名などは、各社の商標あるいは登録商標です。